

施策評価（令和8年度）

戦略5 健康・医療・福祉戦略			
目指す姿1 健康寿命日本一の実現			
幹事部局名	健康福祉部	担当課名	健康づくり推進課
評価者	健康福祉部長	評価確定日	令和8年7月31日

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

全ての県民が健康上の問題で日常生活を制限されることなく、生きがいや豊かさを実感できる社会の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	配点	備考
①	【施策の方向性①～④】 健康寿命(男性)(年)	目標			73.91	—	—	75.21		n	令和9年 判明予定 (令和7年 健康寿命)
		実績	72.61	—	(72.43)	—	—				
		達成率			98.0%	—	—				
②	【施策の方向性①～④】 健康寿命(女性)(年)	目標			77.38	—	—	78.75		n	令和9年 判明予定 (令和7年 健康寿命)
		実績	76.00	—	(75.67)	—	—				
		達成率			97.8%	—	—				
③	【施策の方向性①～④】 要介護2以上の者(65歳以上75歳未満) が被保険者に占める割合(%)	目標			1.88	1.83	1.78	1.73	85.5%	2	
		実績	2.01	2.09	2.10	(2.08)	2.05	1.98			
		達成率			88.3%	86.3%	84.8%	85.5%			
④	【施策の方向性①、②】 秋田県版健康経営優良法人の認 定数(法人)	目標			70	80	90	100	224.0%	4	
		実績	32	54	139	181	197	224			
		達成率			198.6%	226.3%	218.9%	224.0%			
⑤	【施策の方向性②】 受動喫煙防止宣言施設の新規登 録数(件)	目標			180	180	180	180	103.9%	4	
		実績	164	168	63	100	250	187			
		達成率			35.0%	55.6%	138.9%	103.9%			
⑥	【施策の方向性②】 12歳児における1人平均う蝕数 (本)	目標			0.4	0.4	0.4	0.4	100.0%	4	
		実績	0.7	0.6	0.5	0.4	0.5	0.4			
		達成率			75.0%	100.0%	75.0%	100.0%			
⑦	【施策の方向性③】 特定健康診査の実施率(%)	目標			70.0	70.0	70.0	70.0	83.4%	2	
		実績	51.7	49.1	56.2	57.5	56.9	58.4			
		達成率			80.3%	82.1%	81.3%	83.4%			
⑧	【施策の方向性③】 がん検診(胃・大腸・肺・子宮頸・ 乳)の受診率(%)	目標			50.0	50.0	50.0	50.0	11.8%～31.4%	0	
		実績	8.4～17.4	4.3～15.2	6.7～13.9	6.3～14.9	6.2～15.0	5.9～15.7			
		達成率			13.4%～27.8%	12.6%～29.8%	12.4%～30.0%	11.8%～31.4%			
⑨	【施策の方向性①、④】 仕事や社会活動等を行った高齢 者の割合(%)	目標			60.0	61.0	62.0	63.0	88.4%	2	
		実績	57.0	53.5	58.5	52.8	53.6	55.7			
		達成率			97.5%	86.6%	86.5%	88.4%			

※ 指標の判定基準

4点: 達成率 $\geq$ 100% 3点: 100% $>$ 達成率 $\geq$ 90% 2点: 90% $>$ 達成率 $\geq$ 80%
1点: 80% $>$ 達成率 $\geq$ 70% 0点: 70% $>$ 達成率 n: 実績値が未判明

定量的評価結果	計算式									
2.57 (d 相当)	4 点	×	3 個	=	12 点	1 点	×	0 個	=	0 点
	3 点	×	0 個	=	0 点	0 点	×	1 個	=	0 点
	2 点	×	3 個	=	6 点					
	合計		18 点	÷	7 個 (判明済み指標)	=				2.57

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準
a相当:平均点が3.6点以上 b相当:平均点が3.2点以上3.6点未満 c相当:平均点が2.8点以上3.2点未満
d相当:平均点が2.4点以上2.8点未満 e相当:平均点が2.4点未満

2-2 経過検証指標の状況と分析

	指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	備考
①	【施策の方向性②】 脳血管疾患による人口10万人当たり 年齢調整死亡率(人口10万対) 出典:厚生労働省「人口動態統計」	実績	35.0	34.7	(33.0)	(32.9)	(30.2)	—	令和8年9月判明予定
分析	- 本県の年齢調整死亡率(人口10万対)は令和6年実績値が30.2と減少傾向にあるが、全国値(令和6年実績値23.0)より高い値で推移している。 「令和7年人口動態統計(概数)」を基に推計した令和7年実績の速報値は30.3であり、前年より0.1ポイント悪化した。								

2-3 主な取組状況とその成果

【施策の方向性① 健康づくり県民運動の推進】 - 保健医療団体、市町村、企業等で組織する秋田県健康づくり県民運動推進協議会について、マスメディアとの連携による会員の取組の紹介や、優れた実践活動を行う会員を表彰する「健康秋田いきいきアクション大賞」の実施等により、協議会活動の活性化を図った(秋田県健康づくり県民運動推進協議会に新たに34団体が入会し、令和7年度末時点で会員数は360会員)。 - 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、秋田県版健康経営優良法人認定制度の県内企業への周知により健康経営の考え方の浸透を図るとともに、224法人を秋田県認定健康経営優良法人として認定した。 【施策の方向性② 生活習慣の改善に向けた意識改革と行動変容の促進】 - 減塩、野菜・果物摂取の意識向上を図るため、「もう一皿野菜をプラス!キャンペーン」を関係団体と連携して実施した(普及啓発資材配布先:スーパー87か所、コンビニエンスストア301か所、企業4か所、その他J A・道の駅、大学・短大、市町村・福祉環境部等)。また、「秋田スタイル健康な食事」の普及を図り、新たに9店舗31メニュー(累計39店舗167メニュー)を認証した。 - 若い世代等における喫煙を防止するため、学校や県建設業協会、県トラック協会等へ啓発資材を配布するとともに、大学・専門学校等の学生や放課後児童クラブの児童に対してたばこに関する講義を実施(36か所、2,104人参加)するなどの普及啓発を実施した。 【施策の方向性③ 特定健診・がん検診の受診の促進】 - 協力かかりつけ医(204か所)による受診勧奨用チラシを活用した受診勧奨のほか、歯科診療所・薬局では啓発ポスター掲示を通じて、受診勧奨を行った。また、国立がん研究センターからがん関連資料セットが寄贈・設置されている公共図書館であるがん情報ギフト設置図書館に啓発資材を配布するとともに、がん対策推進企業等連携協定締結企業32事業所が、県民と接する場面等で啓発資材を活用し、受診を呼びかけた。 - 市町村が実施する胃、大腸、肺、子宮頸、乳がん検診について、罹患率の高まる年代を対象として、検診受診に係る受診者自己負担額の無料化または経費の軽減に対し、助成を行った(延べ11,221人受診)。 - 若い世代におけるがん検診受診の習慣化を図るため、20歳代の女性を対象として、市町村が実施する子宮頸がん検診受診に係る受診者自己負担額の無料化または経費の軽減に対し、助成を行った(1,325人受診)。 【施策の方向性④ 高齢者の健康維持と生きがいがづくり】 - 老人クラブによる、地域の清掃活動や見守り活動等の地域活動を通じた高齢者が活躍できる場の創出を支援した結果、延べ1,586クラブが地域活動を実施し、高齢者の社会参加が促進された。 - 高齢者を中心とするスポーツと文化の祭典である全国健康福祉祭(ねんりんピック)に本県から104名の選手が参加し、健康づくりや交流による生きがいがづくりが促進された。 - フレイル予防啓発事業として、健康運動指導士と栄養士による、県民を対象とした研修会や出前講座を開催した(35回、延べ633人参加)。また、フレイル予防の指導を行う人材の資質向上のための講習会(7回、延べ132人参加)、オーラルフレイル予防の指導を行う人材の資質向上のための講習会(4回、延べ162人参加)を開催した。									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
d	成果指標の達成率を基にした定量的評価は2.57で「d相当」であることから、総合評価は「d」とする。
	【定性的評価として考慮した点】 .

4 県民意識調査の結果

質問文	県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。					
満足度	調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見	15.7%	12.5%	13.8%		
	十分 (5点)	1.5%	1.6%	1.9%		
	おおむね十分 (4点)	14.2%	10.9%	11.9%		
	ふつう (3点)	52.9%	45.3%	51.7%		
	否定的意見	20.8%	32.1%	25.2%		
	やや不十分 (2点)	12.7%	19.9%	16.0%		
	不十分 (1点)	8.1%	12.2%	9.2%		
	わからない・無回答	10.6%	10.0%	9.2%		
	平均点	2.87	2.66	2.79		

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

※2026(R8)年度は2025(R7)年度以前と質問内容が異なるため、結果は記載していない。

参考:2026(R8)年度県民意識調査の結果

質問文	健康づくりに対する県民の意識が高まっている					
満足度	調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	5点				2.7%	
	4点				20.2%	
	3点				39.9%	
	2点				18.8%	
	1点				7.6%	
	わからない・無回答				10.9%	
	平均点				2.91	

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

※2026(R8)年度は2025(R7)年度以前と質問内容が異なるため、2025(R7)年度以前の結果は記載していない。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の 方向性	課題	今後の対応方針
①	○ 健康づくりに関するアイデアを募集し発表してもらう「子ども健康会議」を開催しているものの、参加者が一部の層にとどまっており、県民全体へのヘルスリテラシーの浸透につなげていない。	○ SNSを活用したプロモーションの強化により参加者を拡大するとともに、事前学習やフォローアップを充実させ伴走型で実施することで、子どもたちの主体的な取組を促進する。あわせて、親子で健康について考える機会を提供することで、子どもから大人まで、県民全体へのヘルスリテラシーの浸透を図る。
②	○ 野菜摂取目標量や食塩摂取等の健康情報を発信しているが、行動変容にまでつなげていないほか、無関心層へのアプローチができていない。	○ 健康情報の発信に加え、知らず知らずのうちに健康的な行動を選択できる仕組みづくりに向けて、産官学民が連携した会議体を設置する。この枠組みを通して、健康づくりを促す社会環境の整備や無関心層も含めた県民の行動変容を促す施策を具体化し、実施していく。
③	○ 特定健康診査の実施率が全国平均を下回っているほか、がん検診受診率（胃・大腸・肺・子宮頸・乳）は、いずれも目標である60%に達していない。	○ 健（検）診予約システムの未導入市町村に対してシステムの導入を働きかけるなど、健（検）診を受診しやすい環境整備を進めるとともに、プッシュ型の普及啓発を通じて、健（検）診の受診促進を図る。
④	○ フレイル予防の啓発を担う人材が不足しているほか、地域によって活動に隔たりがある。また、指標として設定している「要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合」が4年間で目標に届かなかった。	○ 県民が年齢や性別、関心の有無に関わらず、フレイル予防に取り組めるよう、活動を担う健康づくり地域マスターや、市町村職員等の人材を育成し、担い手不足及び地域間の取組格差の解消と普及啓発を図る。また、目標の達成には至らなかったものの、4年間を通じて要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合は減少傾向にあり、今後とも介護予防や高齢者の社会参加を推進し、更なる減少につなげていく。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「d」をもって妥当とする。